

大館北秋田造形教育研究会

会員 29名

【組織】 会長 木村 伸 (比内中学校)
副会長 嘉藤 貴子 (合川中学校) 藤島 幹子 (上小阿仁小学校)
三澤 正敏 (成章小学校)
事務局 佐々木 亜希子 (東中学校) 沼田 桃子 (森吉中学校)
研究部 工藤 明美 (鷹巣中学校) 津谷 美穂子 (鷹巣小学校)

会計 山崎 真紀子 (比内中学校) 佐々木 由美 (北陽中学校)

【主な事業】

大北造形研究会総会 (4/11)
会場：田代公民館

大北造形研夏季研修会 (8/8)
会場：北秋田市民ふれあいプラザコムコム

秋田県児童生徒美術展地区審査会 (11/22)
素描集「北の造形」第52集審査会及び研修会
会場：田代公民館

第42回 絵を見て語る会 (1/17)
素描集「北の造形」第52集発刊・配布
大北造形研究会最終理事会 会場：上川沿公民館

【研究会の記録】

8月8日に行われた夏季研修会には、小中から合わせて12名が参加した。株式会社サンサ クラフテリオの笠原さんを講師にお招きし、新素材Kボードという版画素材を使った版画体験、Kクレイという軽量紙粘土を使った粘土フォトフレームの制作で、9:00から12:00までの、半日間の日程で行った。

講師の方は、彫刻刀の巨大模型を使って道具の扱い方や安全面での注意点などを説明してくれた。授業を受ける子どもの視点で参加することで、普段の授業で意識していかななくてはいけないことに気付かされ、大変参考になった。Kボードは、軽い力で彫ることができ、細やかな表現も可能な版画材である。小学生で、初めて版画に触れる子どもに適しているとのことであった。Kクレイは、軽くて伸びのある扱いやすい粘土で、別の素材への接着も容易であり、色の混ぜ込みや、乾燥後の彩色もできる。今回はフォトフレームと合わせて制作することで、子どもの生活での必要感や、テーマ性を引き出せる題材が可能であると感じた。

課題としては、参加者が少なかったことである。もっと早く計画を立て、案内を出すことで、広く宣伝できたと思う。特に、美術を専門としていない小学校の先生方にぜひ参加してほしい内容であった。

